

研修名	専門課程 河川計画 【ハイブリッド】 (昭和40年度～)					
目的・重点事項	<p>河川行政の現状と課題及び今後の方向性の理解を促し、河川整備基本方針や河川整備計画策定及び流域治水の取組等に関する専門的知識を重点的に修得させることにより、河川に関する調査・計画・管理を適切に実施できる人材を育成することを目的とする。 専門知識及び技術を修得させることを目的とする。</p> <p>以下の点を重点項目とする。</p> <p>① 河川行政の現状と課題、今後の治水対策等河川行政全般に関する知識の修得</p> <p>② 河川整備基本方針、河川整備計画策定及び流域治水の取組等に必要な専門知識の修得</p> <p>③ 気候変動に対応した治水計画、高水計画、土砂管理計画等の専門知識の修得</p>					
対象者	<p>国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市、中核市又は独立行政法人等の技術系職員で、河川の調査・計画に関する業務を担当し、次のいずれかに該当する者</p> <p>① 事務所等の専門官、係長又はこれに準ずる職にあると認められる者</p> <p>② ①の者と同程度の能力を有すると認められる者</p>					
定員(人)	国土交通省	内閣府沖縄総合事務局	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計
	11	1	12	1		25
研修期間	60.0 60.5 時間 10日間			令和6年 1月15日(月)～ 令和6年 1月26日(金)		
カリキュラム内容(予定時間)	<p>1. 講義 (33.029.5)</p> <p>① 河川行政の現状と課題、河川整備基本方針と河川整備計画等 (3.0)</p> <p>② 流域治水の実践と法的枠組み、水害リスクの見える化、高水計画、正常流量の検討、中小河川の高水計画と内水計画降雨流出の水文統計と計画流量、洪水の水利と河道の設計法、河川環境の視点、総合土砂管理*1)、行政マネジメントの進め方、河川管理の現状等 26.5</p> <p>*1: 「ダム管理技術研修」との合同講義 (30.0)</p> <p>2. 課題研究 (26.029.0)</p> <p>3. その他 (1.5) 60.0</p> <p>入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス 計 60.5</p>					
前年度からの主な変更点						
担当	建設部 建設第一科 (TEL: 042-321-0645)					
備考	テキスト代(予定)47,000円 オンライン:1月15日～1月19日、集合:1月22日～1月26日					